

パブリックコメント手続による三田市立幼稚園再編計画(案)
に対する意見の内容と市の考え方(概要及び個別)

【概要】意見の内容と市の考え方の骨子 (★)は、再編計画の修正を行うに当たって参考にする意見

意見の内容	市の考え方の骨子
<p>① 高平幼稚園を残すべき</p> <p>松が丘幼稚園が廃園になっても他の園に通うことは容易だが、高平から志手原へ行くのは大きな負担である。</p> <p>地図を見ると高平幼稚園が存続するほうがバランスが良い</p> <p>(★)少人数であっても自然豊かな幼稚園をなくすことは疑問</p> <p>高平地域の子育て環境は人と人とのつながりが深い</p> <p>(★)学習効果を高めるには少人数クラス編成が理想的</p> <p>OECD 各国では平均 14 名/1 クラス、先進国では 6 名/担任 1 人</p> <p>(★)幼児教育は投資効果が高いとする研究がある。質の高い保育は質の高い保育者が子どもと対話することによって実現する。少人数でなければならない</p> <p>高平幼稚園は公立ではまれにみる素晴らしい保育をしている。目先の削減より、こども園にしてはどうか。</p> <p>保護者・住民と交流を深めていれば高平幼稚園が地域にとってどれだけ大きな存在で、どれだけ大切な存在であるか把握できたはず</p> <p>高平の住民は高平が大好きで、世代が好循環している。ニュータウンからもバスがあるなら通わせたい、と思う人はたくさんいるのではないか。</p> <p>志手原幼稚園区の方は松が丘幼稚園に通える距離</p> <p>(★)私立では経営の観点から難しい小規模保育を市が率先してすべき</p>	<p>農村地域の市立幼稚園は、園児数が大きく減少しています。少人数であることの利点はあるものの、社会性や協同性を育むためには、一定の集団規模が必要であると考えています。このことから、集団規模を確保できる環境をつくる必要があります。</p> <p>そこで、農村地域の市立幼稚園を集約するとともに保育ニーズに対応できる認定こども園を設置することを内容とする再編計画を策定しました。</p> <p>認定こども園の設置場所については、就労支援施設であることも考慮して選定しています。</p>
<p>② 再編に賛成する意見</p> <p>集団生活での学びは大きい</p> <p>たくさんの友だちと出会い、しなやかに育てほしい</p> <p>就労状況に関わらず選択できる施設が農村部にできることは望ましい</p> <p>早く 3 年保育になってほしい</p> <p>再編の実施予定が延びて残念</p> <p>保育サービスが不十分であるばかりに園児数が減っているのはもったいない</p> <p>現在の体制では市立幼稚園の役割を果たすことは難しい</p> <p>大人数であることは子どもの成長にとってプラスになることがたくさんある</p> <p>小規模化は深刻。思い切って変化していかなければならない。</p> <p>農村部に長時間保育可能な施設ができることは地域の活性化につながる</p>	<p>再編計画の実効性を高められるよう地域、保護者の皆さんとも協議しながら取り組みます。</p>

意見の内容	市の考え方の骨子
<p>③ 認定こども園の設置場所の根拠に関すること</p> <p>就労場所など具体的なデータはあるのか ほかにもどんな案があるのか、高平にこども園は設置できないのか この案がベストであるとする根拠は 再編計画は、憲法第 22 条第 1 項の権利を制約している -設置場所選定の根拠がない -農業基本計画等と矛盾している 都市部に幼稚園を移す理由を教えてください</p>	<p>①の市の考え方の骨子を踏まえ、各幼稚園間の距離や国勢調査結果等からみると再編計画に定める設置場所については適切なものと考えています。 また、再編計画は、子育て世代の定着を目指すものであり、移住促進等を図る他の計画等と矛盾するものではないと考えています。</p>
<p>④ 移住施策との整合性等</p> <p>移住施策は、農村地域を対象としていないのか 少人数教育を「売り」にすればよい 廃園となる地域に活性化というワードはそぐわない 幼稚園がなくなるのは若者が住みづらくなり、活性化とは真逆の方向 保育施設をなくすなら空き家バンクシステムの廃止若しくは保育施設を再編計画によって廃止した旨を明記すること。活性化という文言も廃止すること。 子育て世代ではなくその上の世代の移住を見込んでいるのか</p>	<p>③の市の考え方の骨子をご参照ください。</p>
<p>⑤ 園児数の減少は市の取り組み不足</p> <p>減少を食い止める施策は実施したのか 園児を集める工夫をしていないから園児数が減少した。工夫を先にすべき 統合の前に空き家対策に力を入れるべき 市にビジョンがない。市のビジョンをしっかりと示すべき</p>	<p>これまでも園児の減少対策を行ってきました。しかし、園児数は減少しており、社会性や協同性を育むための「集団」の確保が難しくなっています。園児数の減少は、地域の少子化と保育ニーズの多様化が主要因であり、再編の実施と他の取り組みとの連携により地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
<p>⑥ 通園バス・時間に関すること</p> <p>バスを待つ場所と乗車時間が心配 各園 2 台で足りるのか。乗車場所はどこか。 登園に当たっての安全確保 通園バスのシミュレーションはできているのか。車酔いや職員の負担、その間の園の管理が心配</p>	<p>再編計画に記載のとおり、バス利用者が確定する段階で乗車時間や安全確保等を念頭に保護者と具体的に協議させていただきます。</p>
<p>⑦ 再編後も地域とのつながりや小学校との円滑な接続等に努めること</p> <p>多くの教職員が子どもの育ちを見守ることができる 再編に向けて前向きに取り組む</p>	<p>②の市の考え方の骨子をご参照ください。</p>

意見の内容	市の考え方の骨子
⑧ パブリックコメント手続に関すること なぜ住所を記入しなければならないのか パブリックコメントは1人につき1つしかできないのか	住所の記入は、条例及び規則に基づきお願いしています。また、提出できる意見数を制約するものでもありません。
⑨ 現在よりも保育の充実を求める 【三田幼稚園】預かり保育や長期休暇中の保育の実現などを実施してほしい	少子化の状況や集団確保の必要性の観点から今後検討する余地はあると認識しています。
⑩ 幼稚園跡地を活用した新しい子育て支援が必要であること 行政がサポートして乳幼児預かり施設を	跡地利用については地域の皆さんと協議させていただきます。
⑪ 2号認定に関すること (★)再編対象地域の2号認定子どもたちが必ず認定こども園に入れることを確約すること	待機児童が生じており、保育所としての利用は、保育の必要性で判断します。地域で特別扱いをすることはできません。
⑫ 地域活性化のこと 行政がサポートして市民が集まる施設を 再編により高平地域の過疎化がさらに進み、とても不安	再編計画は、地域の活性化も目途としています。具体的な内容は地域の皆さんとも協議させていただきます。
⑬ 認定こども園に望む保育のこと 来年の入園見込みでは「集団保育」とは言えない 命と心の保育、感性を大切にしたい保育等に取り組んでほしい (★)育友会の負担軽減について (★)おやつ提供について	ご意見も踏まえて認定こども園の運営について地域、保護者の皆さんと協議等を行ないます。
⑭ 再編に当たってハードが不備であること 場所は定まっているもののハードが整っていない	再編計画の実行に当たって、安全確保を図りながら施設整備等を行ないます。
⑮ これまでの地域との結びつきがなくなる これまでから地域の方々のあたたかい関わり合いがあったが幼稚園が離れることによりなくなることが必至	地域との結びつきを継続することについて、認定こども園の運営方針等の検討に当たって地域の皆さんと協議します。

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>1 総論として、こども園を新設することの理由、特に農村地域を維持していきたいという点については理解いたしました。その前提において、なぜ松ヶ丘(※)幼稚園が存続して、高平幼稚園が廃園になるのでしょうか。松ヶ丘(※)幼稚園は三田幼稚園、三輪幼稚園にも近く、また志手原にも近い立地にあります。松ヶ丘(※)幼稚園が廃園となった場合においても、当事者の方々の移動負担はさほど変わらないと思います。一方で、高平地域の方にとって、志手原まで行かなければならないのは大きな負担となります。松ヶ丘(※)幼稚園が単独で存続する理由について「一定数の子どもがおり、市街地にも近く、集団規模の確保も見込まれる」とありますが、その根拠は何でしょうか。当事者にアンケート調査をした等、根拠を示していただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 令和3年度の高平幼稚園と松が丘幼稚園の園児数が同数(12名)であることがご意見の背景にはあると考えます。 令和3年度における園児数は、同数ですが、松が丘幼稚園区の就学前児童数は、高平幼稚園区の2倍を超え、再編計画で定めている(仮称)三田東認定こども園の園区全体の80%を超える就学前児童が居住しています(再編計画P15・16)。 加えて、市立幼稚園の園児数の減少は、少子化の進行に加えて保育ニーズの多様化に十分に対応できていないことに起因しており、松が丘幼稚園の保育サービスを拡充することで(再編計画P5・6)、現在よりも園児数が増加すると見込めると考えています。 農村地域の活性化に取り組む観点からも、現在の再編計画が適切であると考えていますが、市全域で少子化が進行している状況等を踏まえると、今後は、松が丘幼稚園を含む市街地及びその周辺の市立の就学前施設について、3～5歳の子どもたちに集団生活を通じた学びの環境を確保し続けるための検討などが改めて必要になるとも考えており、そのこと等を前提とした取り組みを進めることとしています(第5次三田市総合計画案)。 なお、ご指摘の園児の通園負担については、認定こども園を幼稚園としてご利用される園区内の方(1号認定)が利用する通園バスの乗降場所等について、乗車時間が過度に長時間にならないこと等を踏まえて、ご利用される方とご相談させていただくこととしています。</p>
<p>2 先ほど別のコメントを送信したところ、また一から名前、住所、電話番号を記載させられました。パブリックコメントはひとり1つなのでしょうか。</p>	<p>複数の意見をご提出いただくことは可能です。インターネットによる申し込みフォームの仕様は、一回の送信ごとにお名前等を入力する形式になっていますが、複数のご意見を入力していただいで送信することもできますので、ご理解をお願いいたします。</p>
<p>3 現在予定されている再編後の分布をみると、市街地に近いところに集約され、その外にはまったく幼稚園がなくなります。三輪・三田・三輪・志手原と近接するところに4つの園があり、外側にはひとつもなくなるのはバランスが悪いのではないのでしょうか。松ヶ丘(※)幼稚園と高平幼稚園は園児数にも差がないのであれば、三田市全体の地図をみた際に、松ヶ丘(※)幼稚園を三田・三輪・志手原に吸収し、高平を存続される方が、バランスも良いのではないのでしょうか。子どもにとって通園時間は非常に大切ですので、遠いところに住む子どもたちだけに大きなしわよせ、負担をしいるのではなく、市街地に近い方にも少しずつ負担を分配していただいた方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 再編計画は、幼稚園の集団規模を確保することで子どもたちの教育環境を整えることを前提に地域の活性化を図ることも視野に入れ、農村地域に認定こども園を配置することとしています。また、最も多く園児が集まるであろう場所を再編計画で定めています。ご意見のように園児数等ではなく地図上のバランスのみで設置場所を決めることはできないと考えます。 松が丘幼稚園ではなく高平幼稚園を存置した方がよいのではないかとのご意見については、No.1の「市の考え方」をご覧ください。 ご指摘のとおり、通園負担の軽減に取り組むべきですので地域や保護者の皆さんとの協議等を通じて通園負担の最小化を図ってまいります。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>4 新設する場所を志手原にしている理由が「一般的に」という一言でくられていますが、三田市のかけがえのない財産である農村部の幼稚園再編にあたってあまりにも雑ではないでしょうか。「一般的」ではなく、当該地域における状況はどれだけ調査、把握しているのでしょうか。具体的には、就労している方はみなさん本当に三田市街の方に行っているのでしょうか。篠山、伊丹、宝塚、川西、猪名川方面への就労者数と、三田市街方面へ行かれる方の人数について調査しているのでしょうか。「一般的に」ではなく、現状について調査、分析した根拠を示していただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 それぞれの市民の皆さんの状況は異なり、様々な場所で就業されています。ただ、再編計画の目的が「望ましい集団規模」の継続的な確保にある以上、どの幼稚園を活用し認定こども園とすればその可能性が最も高くなるのかという視点で考える必要があります、こうしたことから、意見交換会では「一般的に」就業先に近いと考えられる志手原幼稚園及び広野幼稚園を交通利便性の高さとも相まって、活用することとした、と説明してまいりました。 平成27年度国勢調査によると三田市の15歳以上の就業者数は52,950人です。このうち、市内で就業している方は24,680人(46.6%)です。ご指摘の市町が就業地の方は、伊丹市が688人、宝塚市が1,166人、川西市が406人、丹波篠山市が993人、猪名川町以外の市町も含みますが県内他市町が161人となっています。そのほか、丹波市が329人、亀岡市が11人であり、あわせて3,754人(全就業者数の7.1%)となっています。 また、本市には、2,000人を超える保育が必要なお子さんがいらっしゃいますが、本市の就学前保育施設は、市街地及びニュータウンに多く存在するので、保育が必要な方の多くは、これらの施設をご利用されています。また、市外の丹波市、丹波篠山市、猪名川町の保育施設をご利用されている三田市在住のお子さんは5名となっています。 これらのことから、市内で就業している方が多くいらっしゃることで、市外でも市街地等を経由して通勤されているであろう就業地が多く、ご指摘の市町等を就業地とする方が7.1%にとどまること、加えて市外の保育施設の利用状況等を見ると、ご指摘の市町に就業地があり、かつ、保育の必要性があるお子さんがいらっしゃる方も市内の保育施設を経由して、通勤等されていることが多いとみることができると考えます。 これらのことからすると、現在の再編計画における認定こども園の設置場所は、適切なものであると考えます。</p>
<p>5 パブリックコメント登録になぜ住所が必要なのでしょう。万が一の連絡先であれば電話番号だけで十分なのでしょう(※「なのではないでしょうか。』と思われます)。入力する工数が多ければ多いほど、寄せられる意見数は減ると思います。意見を広く募集したいのであれば、そのような点も配慮いただきたいです。</p>	<p>パブリックコメントは、在住・在勤・在学者などの市民意見を聴く手段であるため、三田市市政への市民参加条例施行規則第6条で、氏名、住所、連絡先を記載していただくこととしていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 なお、ご指摘の点も含め、広く意見を募集するための工夫や配慮については、今後検討してまいります。</p>
<p>6 令和2年に開催された意見交換会の議事録を改めて読み返しました。その時に「持ち帰ります」となった件について、令和3年の説明会でも回答はありませんでした。その中の一つに「今回提示された案以外にどのような案があるのか」「高平にこども園を新設する案を考えてほしい」という要望もあり</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 令和2年に開催した説明会(意見交換会)でいただいたご意見等については、内容を整理したうえで、令和3年6月に開催した意見交換会で対応等させていただきますと認識しています。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
	<p>ましたが、それ(複数の案を示し、同じ基準で評価すること)については触れられていませんが、この案(特に新設する場所、統廃合の対象となった幼稚園/統廃合の対象とならなかった幼稚園)が Best である、すなわち「他の案と比較して、これが最善である」という検討過程について開示していただきたい。</p>	<p>ご指摘の「複数の案」については、6月の意見交換会開催までに①全園を認定こども園とする②現在の再編計画(案)以外の幼稚園を活用する、などについて改めて検討をしました。</p> <p>再編において最も重視しているのは、「望ましい集団規模の確保」をいかに図るかにあり、その観点からすると、現在の案が「望ましい集団規模」を確保する可能性が高い最善の案であると考えておりますので、その他の案を選択肢としてお示しはしておりませんが、この案が最も適切であることについてはご説明させていただいたと考えています。</p> <p>また、再編計画は、幼稚園(認定こども園)の集団規模の確保により幼稚園教育の充実を図りつつ、農村地域の活性化を図るものであり、人口減少が著しい農村地域の活性化にとっても最善であると考えています。</p>
7	<p>今回の統廃合対象地域の園児たちは「100%」2号認定の対象となるわけではない、と読み取れました。結果的に、新設する2つのこども園に来る園児たちは、市街地の子どもたちであり、「近くにこども園ができる！」と喜んだ当事者の方々が、抽選でもれる、もしくは遠くの保育園に通わないといけなくなるような事態を避けることは、今回の案を実行するにあたり「必須条件」だと思います。この点を確約する条項を盛り込んでいただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「保育の必要性」があれば「2号認定子ども」となります。</p> <p>ご意見は、再編対象地域の2号認定子どもが再編対象地域内に住んでいても、新たに開設される認定こども園に通園できるわけではなく、認定こども園に入園できることを保証するべきであるとのことご意見だと思われまます。</p> <p>認定こども園を保育所等として利用する場合(2号認定子ども)は、一人一人の保育の必要性を指数化し、住所地に関わらず、ご希望の施設ごとに保育の必要性の高い方から、入所者を決定します。待機児童が社会課題となっている現状において、農村地域の方が就業地等によっては市街地やニュータウンの施設へ入所を希望することがあるのと同様、特定の地域にお住まいの方だけ、保育の必要性の大小にかかわらず、必ず入園できるよう配慮することはできないことはご理解ください。</p> <p>なお、実際には、園区の就学前人口、再編による認定こども園を含めた市内の就学前保育施設の立地等の状況から園区内の2号認定子どもについても、一定の受け入れ人数を確保できると考えています。</p>
8	<p>近年の入園者数からも幼稚園の統合は賛成です。子どものためにも集団生活の中での学びは大きいものだと思います。また運動会や生活発表会など、人数がいてこそその楽しさもたくさんあるからです。</p> <p>広野幼稚園場所への統合ということですが、幼稚園前の駐車場、そして、そこへ繋がる坂道の整備もしっかりしていただくと嬉しいです。道が狭く、歩いての登園時、車が通る時が少し怖く感じます。登園時間が早くなる場合、小学生の登園時間とかぶるのも心配です。また、今、坂道横で建物工事で竹林であったところが工事会社により舗装されていますが、少し安全性に不安がある感じになっていますので確認をお願いしたいです。</p> <p>本庄、藍と統合し、これまでより様々な地域からの家庭が集まるので、広</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の広野幼稚園の現状等については認識しています。再編計画では、園児・児童の安全確保に必要な措置を講じること等としており(再編計画P9)、適切に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>育友会のあり方等につきましては、ご提案いただいたご意見も踏まえ、認定こども園の運営方針等に関する事として、保護者や地域住民の方々等との協議等を踏まえて決定することについて、追記させていただきました(再編計画P9)。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>野小学校と連携の育友会への加入は廃止でも良いのではないのかなと思います。</p> <p>広野地区以外の方が役員になった場合、役員会に出席してもほぼ広野小学校の議題で幼稚園役員参加の必要を感じられないこと、そしてこれは全員ですが、幼稚園児がいるのに会議出席という負担を負うことが理由です。</p> <p>会費を集めるというのなら義務ではなく、加入・会費支払いの有無を聞くべきです。</p> <p>各家庭、共働きの家庭が負担なく安心して子どもを預けられるように昔ながらのPTAも変えていくべきではないでしょうか。良い方向に再編、統合されることを願います。よろしくごお願い致します。</p>	
<p>9 再編計画案に賛成です。</p> <p>子どもたちには、たくさんの友達と出会い、多様な経験をするなかで、心も体もたくましく、しなやかに育って欲しいと思います。</p> <p>また、保護者の就労の有無に関わらず通うことができるこども園が農村部にできることで施設の選択肢が広がります。</p> <p>少子化が進むなかで、幼稚園を再編し、こども園化する計画は妥当だと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再編計画の実行に当たっては、その実効性を高めるために、地域や保護者の皆さんと取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>10 この再編計画(案)に関する個々の問題について意見ではなく、市が示す内容そのものに矛盾と一貫性がないことが大変残念です。</p> <p>第3期三田市教育振興計画(案)の基本理念で「地域との触れ合いやつながりを深める…様々な体験や人との関わりの中で…」とあり、基本目標では「学校・家庭・地域そして、行政が相互に連携・協働し…」とあります。今回の再編計画(案)が部分的な手直しがされておりますが、これまで地域にあった幼稚園が小学校と共に統合再編によりなくなっていくことが、子どもの発達にとって三田市自身が作成した第3期三田市振興計画(案)とどのように整合性が取れるのでしょうか？</p> <p>11月12日開催された教育総合会議で、教育長は自らの体験を述べながら、幼稚園と小学校の密接な関係やその重要性を述べました。すでに三田市立学校再編計画(案)で小学校における学年当たりのクラス数の適正規模を示しており、必然的にこの基準を仮に「是」とするならば、現状では小学校もともに再編統合されるのは当然の事態となります。</p> <p>また、市長は若い世代の三田市への移住・定住を促進していこうとしていますが、この移住・定住は、農村地域が除外されているのでしょうか？農村地域で地域の方々との人間的・歴史的・文化的交わりを行政の手によって遠ざけられた環境で、どうやって子育てができるのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再編計画は、幼稚園の望ましい集団規模を持続的に確保することで社会性や協同性を身につけることができる学び環境を整えようとするものです。そのために、農村地域にある市立幼稚園を集約し、保育ニーズに対応し、充実した機能を有する認定こども園を東部と西部に各1園設置することとしています。</p> <p>ご意見にある、これまでの地域との交流については、幼稚園(認定子ども園)でも継続することとしており(再編計画 P9)、園児数が増えることで現在よりも地域との交流は活発なものになると考えています。</p> <p>人口減少や少子化への対応は、推移の見通しとその要因分析に基づき、行わなくてはなりません。再編計画により農村地域に認定こども園を設置することは、子育て世帯にとって魅力のある地域となる契機になると考えています。これに加えて他の移住・定住施策等と連携することで人口減少の抑制と地域の活性化に地域の皆さんと取り組みたいと考えています。</p> <p>小規模特認校は、通学区域が定まっている小・中学校において他の通学区域からでも通学できることとしている小・中学校をいいます。本市では、市立幼稚園について、平成22年から園区を超えて、どの園にも通園できることとしています。これは、園児数が減少しつつあることを踏まえ実施したものであり、小</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>私自身は、岐阜の田舎で生まれ育ちましたが、幼稚園は数キロ先にしかなく、金銭的な理由も重なり入園そのものはせず、小学校へ入学しました。6年間を通して、小学校全体でほぼ50名～60名の学校でした。当時でも私自身もいじめにあったり、また他の子どもがいじめにあうこともありました。子ども同士、教師も含めて「いじめ」そのものを克服してきました。</p> <p>現在高平地域での子育て環境は、農村地域ならではの人と人とのつながりが深く、他人の子どもも含めて地域で温かく見守り、深いかかわりを持っています。教育長自身も十分に認識されていることです。</p> <p>市が示す今後の子どもの数の推移見通しが示されていますが、あまりにも単純な見通しではないでしょうか。また、何故子どもの数が少なくなっていくのか、その対策をどのようにとっていくのかの十分な議論、それは行政だけでなく、地域の方々との議論と対策を行政がとろうとしているのかが見えてきません。</p> <p>子どもの数が少なくなってきたから、「適正規模で子どもにより良い幼児教育を保障する」という、一見まともなように見えるものの、それは果たして正当性のある提案でしょうか？小学校の事ではありますが、市としてこれまで特認校として母子小学校を三田市の一つの教育の在り方として推進してきましたが、今回の計画案はこれまでの市の在り方を否定するものになるのではないのでしょうか？</p> <p>これからの三田市自身が安心の子育てを子どもたちに保障していくために、人数が少なくなっていることの「良さ」を見つけ出し、「三田市の教育の『売り』」にしていくことが大切ではないでしょうか？またそうした少ない人数の子どもたちと地域とのつながりの中で、人間的な温かさを親も子どもも感じながら子育てができる環境整備こそが行政としてすることではないのでしょうか。そうした行政のメッセージと方向性を市民に伝えることで、三田市民だけでなく、他市の人々にも三田市行政の心温まる方針がきっと伝わるでしょう。</p> <p>子どもの無限の可能性を保障していくことは、規模を大きく(三田市はそれを適正規模としているようですが)することではなく、むしろじっくりと人と人との触れ合いを大切にすることではないのでしょうか。</p> <p>公共施設管理計画の観点から三田市の教育施設面積が市内公共施設の5割を占め、国からの圧力があるのは十分に認識しています。しかし、そうであるならば率直にそのことも市民に示し、果たしてそうした観点で子どもの育ちを考えることが妥当なのかの判断を市民と共に考えることが大事だと思います。</p> <p>今回の計画案について、これほどまで短期間に結論を出すことは、子ども</p>	<p>規模特認校の趣旨と通じるものです。それ以外にも園庭芝生化・開放などの魅力を高める取り組みを行ってきましたが、園児数は減少し続けています。</p> <p>これまで地域の皆様のご協力や教育内容の工夫と実践により、少人数であっても社会性や協同性を育める環境づくりに努めてきました。しかし、このような努力によっても社会性や協同性を育む環境づくりが難しくなるほど農村地域の市立幼稚園の園児数は減少しています。</p> <p>こうしたことから、子どもたちの健やかな育ちの環境をつくり、これまでの市立幼稚園での幼児教育を継続するため、再編計画を策定しました。</p> <p>現在の園児数は、園によっては極めて少人数になっています(再編対象の幼稚園7園中6園が全園児数15人未満、3園が10人未満)が、入園者数を制限するなどにより、意図してそうなったものではありません。学級が少人数であることは利点もありますが、同時に、子どもたちの社会性や協同性などの「生きる力」を育むための環境づくりは難しくなります。現在の状況を市立幼稚園の「売り」にすることはできないと考えます。また、農村地域の1号認定子どもが、市立幼稚園ではなく地域外の認定こども園に通園していることがあることを考えると、園児数が少ないことを不安視している保護者がいることも想定されます。</p> <p>公共施設管理の観点等からのご意見もいただいています。</p> <p>平成29年3月に策定した「三田市公共施設等総合管理計画」は2017年度から2046年度までの30年間を計画期間としており、長期間をかけて公共施設の延べ床面積を削減することとしています。とりわけ教育施設については、公共施設の適正化の観点だけではなく、教育的観点を重視すべきであることから「三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」では、「別途検討する」こととなっています。</p> <p>再編計画は、三田市就学前保育・教育のあり方検討委員会からの提言(平成23年2月)、三田市立学校園のあり方審議会からの答申「三田市立幼稚園のあり方について」(平成30年9月)を受けて策定された「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」(平成31年1月)といった、これまでの議論の積み重ねと市民の皆さんとの意見交換等の所定の手続を経て策定したものです。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>たちや地域に対して大きな禍根を残し、取り返しのつかないことになりかねません。もっと総合的な観点から議論を進める必要があります、そのためには、今回の計画案そのものを一旦棚上げし、市長自身が地域に入ってひざを突き合わせて議論することから始めることを提案します。</p>	
<p>11 高平幼稚園通園中ですが、環境にも先生のご対応にもとても満足しています。幼稚園がなくなるのはとても残念ですが、この施設を利用して、乳幼児預かり施設や市民が集える場所を金銭的や、情動的にも市のサポートの元、運営していただければと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 認定こども園の設置・運営に当たっては、これまでの地域とのつながりの継続とともに、教職員の知見、経験、ノウハウなどを持ち寄ることで教育内容の充実を図ってまいります。 閉園後の幼稚園施設の活用については、地域にとってどのような施設が必要なのか等について地域の皆さんと協議を行い、市のサポートのあり方を含めて、地域の皆さんと一緒に効果的な活用方法を検討したいと考えております。</p>
<p>12 高平地区の豊かな自然と少人数ならではの個性を尊重した保育、型にはまらせずにのびのびと育てられる環境は、その子の得意なことを伸ばせられる素晴らしいと思います。 自然から学べるのがほんとにたくさんあると思うのでこの豊かな自然を生かした保育をすることはこれからどんな災害が来たときにも対応できる生きるチカラや感じるチカラを伸ばすことにつながると思うので多い人数がいいという理由だけで自然豊かな幼稚園なくすことはほんとに財産、子ども達の未来を守れているのかほんとに疑問に思います！ どうか守ってほしいです</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 高平幼稚園に限らず、市立幼稚園では、個々の子どもを尊重し、子どもの興味や関心に基づいた周辺環境を生かした直接的な体験を大切にしています。再編後の認定こども園においても、身近な自然に触れ、五感を通してその美しさや面白さ、不思議さなどに心を動かす体験を大切にしていきます。 また、社会性や協同性を育む幼稚園での生活には、このような感動体験を共有できる「ともだち」の存在は大切です。「ともだち」と気づいたことや発見したことを伝え合ったり、一緒に試したり調べたりしながら好奇心や探究心を高め、自分たちの遊びや生活に取り入れていきます。こうした体験は、数値で測ることができない「非認知能力」として、学びに向かう力の基礎となり、小学校以降の生活や学習、やがては生きる力につながるものであると考えます。 再編計画は、望ましい集団規模を持続的に確保し、集団を通じた学びの環境を整えることで、子どもたちの健やかな育ちと学びを支援するものであることをご理解いただければ幸いです。</p>
<p>13 志手原幼稚園に統合されるで決まるそうで高平幼稚園がなくなるのが悲しいです。仕方ないと切り替えて考えてみます。スクールバスとなるそうですがバス待ちがどこになるのか、乗車時間が長時間になるのか不安です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 通園バスの乗降場所及びルートについては、園児の安全確保や乗車時間を考慮しつつ、複数の乗降場所をあらかじめ設定し、実際に利用する園児の保護者等との協議のうえで具体的に決定します(再編計画P9)。</p>
<p>14 バスに関してですが、ルートを教えてほしいです。 2台で足りませんか？自宅から小柿まで片道30分かかります。同じバスだとかなりバスに乗っている事になります。徒歩で送迎できる所まで来てくれますか？私の地区から波豆川のバス停までは2km弱あります。</p>	<p>ご指摘のとおり、園児のバス通園の負担を考慮すべきですので、市内の他園の実態等も参考に、保護者の方のご協力もいただきながら、各園2台のバスの運用の最適化を図りたいと考えています。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
15	<p>今年の10月より子どもが高平幼稚園に通っています。地域の皆さんを始めいろいろな人との交流が子どもも保護者もあり、編入出来て凄く良かったと感じておりました。たしかに子どもの人数は少ないですが、少ない事がデメリットであると感じた事はありません。</p> <p>より深く子ども同士も交流出来て、親もPTAなどの役員を通して凄く仲良くなっていると思います。</p> <p>合併された跡地の事や、高平小学校までも合併されるような事が有れば高平の地域の過疎化がより進み、これからとても不安になります。</p> <p>このままの在り方で行けるのであれば、このままでいきたかったと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、お互いの「顔が見える」ことで、子どもたちは安心して、緊密な関係を構築しやすくなるなどのメリットがあるとしても、幼稚園教育で社会性や協同性を育むためには多様性にふれる環境としての「集団」は必要です。幼児期は、社会性が著しく発達していく時期です。教職員の適切な環境づくりにより、同年齢の友だちと関わり、思いを伝え合ったり、刺激し合ったり、時にはトラブルや葛藤する経験をしながら、人と関わる力を身につけていきます。園児数の減少により、これまでの知見や経験を活用したとしても、社会性や協同性を育む環境をつくるのが難しくなっています。</p> <p>再編計画は、子どもたちの学びの環境を良くしようとするものであり、これを契機として地域の活性化も図るものです。高平地域の過疎化を進行させようとしているものではないことをご理解いただければ幸いです。</p>
16	<p>はじめに</p> <p>こどもは宝です。こどもたちの姿や声は、地域を明るくし、元気をあたえてくれます。藍小学校校区は、昔から『おらが学校』『地域の子はうちの子』と大人たちはみんな思っています。きっと本庄、広野も同じ思いの方が多いでしょう。</p> <p>今年の運動会で幼稚園児から六年生までバトンをつなぐリレーがありました。少人数の学校だから出来ることでしょうか、とても微笑ましく、会場が温かい心で包まれました。兄弟、姉妹が少なくても、面倒をみたり憧れたりしている様子は、心の教育そのものと、思います。出来るならこのままであってほしいと、願いますが、来年の入園予定を聞くと、二名だとか。この人数では集団保育と言えないですね。</p> <p>以下私の願いを記してみます。</p> <p>1. 命と心の保育</p> <p>かつて幼稚園に勤務していた時、何よりも命を大切に、思いやりの心を持った人になってほしいと、願って保育していました。園長になって月曜の朝少しの時間ですが、全園児に話します。長い話は忘れます。そこで『一番大事なものは？』『いのちとこころ』この対話を繰り返してきました。</p> <p>認定こども園になっても、この精神は忘れないでほしいと、願っています。中心になる幹がぶれなければ、計画実行の枝は、すくすく育ちます。</p> <p>危険がないか、心に傷がつかないか、楽しいか、のびのびしているか、今より少し上の目標をひとりひとりの成長に合わせて、計画し達成感を積み上げ、園児を真ん中に仲間、保育者保護者が共に成長を喜び合う。場面がたくさんあってほしいです。</p> <p>2. 感性を大切に保育</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>ご意見のとおり、子どもたちは私たちの宝であり、その健やかな成長を願い、幼稚園においてその環境をつくるのが、市の責務であり、そのための再編計画と位置付けています。ご意見でいただいた「思い」を大切に、子どもたちが生きていくうえで必要な力を幼稚園で育むため、これからも教職員が一丸となって、精一杯取り組んでまいります。</p> <p>今後も認定こども園の運営等に対して、ご意見等を頂ければ幸いです。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>上記の心育てに一番大切な事が感性だと思います。嬉しいこと楽しいことが、たくさんあるのはいい事ですが、悲しい場面も、腹が立ったり、悔しい場面もたくさんあります。そんな時『一人でないよ、分かる、わかる』と、共感してくれる周りの人がいて、乗り越え成長できます。またびっくり、きれい、いいにおい、ふしぎ、すごい、しんどい、へえ？など心が動く体験を一杯することが人の心がわかる思いやりの心につながると思います。自然はたくさん感動と、癒しと、時には厳しさも教えてくれます。</p> <p>タブレットを使ったり映像体験もいいですが、実体験に勝るものはありません。心ゆさぶる体験を仲間と共に経験し、それを話したり、表現しあったりして分かり合い、おなじ思いだったり、違う見方や考えがわかったり、認め合い、大切にしよう仲間になっていけます。考える力や工夫する力にもなります。園の中にも園庭にも園外保育にも、たくさん感動と共感の保育をして、心育てをして下さい。</p> <p>3. 先生が元気で楽しくないと子どもも楽しくない。</p> <p>在職中はお蔭で楽しい毎日でした。新しいことを考えやってみるドキドキ感は毎日ありました。保育計画の中にも、子どもの反応の予測はほぼ当たっているのですがその予測と違う言葉や表現が毎日あって、楽しくてうれしくてドキドキして、子どものすごさに毎日感動して、私が楽しませてもらっていました。二学期後半から三学期にかけての劇遊びを作り上げる時は、毎日の保育が楽しくて、形にしていく時にはちょっぴり苦しいけれど、集大成を子どもたちと保育者が一体となって作り上げました。</p> <p>余分なことを書いてしまいましたが、保育者が楽しく元気で保育に取り組める環境はとても大切です。保育に専念できる人的配慮を願っています。また、延長保育もあり、保育時間が長くなりますが、子どもたちも保育者も疲れないように、やっぱり人が不足しない配慮が必要です。</p> <p>保育者の研修時間はどうでしょう？日頃の保育を反省したり新しいかぜを吹き込み意欲的に保育に取り組むには研修が必要です。講演を聞くことも大切ですが、実際の保育を見て学ぶことは大きいです。できれば子どもたちが疲れてしまわない午前中に研修できる体制づくりも大事です。是非実施してほしいです。これも交代しあえる職員配置があればこそできることですが。</p> <p>4. 地域とのつながり</p> <p>三つの園それぞれに地域のみなさんとのつながり、小学校とのつながりがあります。それがどこかでつながり続けるような取り組みがほしいです。</p> <p>たとえば、地元小学校の運動会に一つ参加する。(練習のいらぬ種目にして)など年間何度か交流の場がほしいです。また、小学生がこども園に訪</p>	

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>問する機会があってもいいかな。大人の交流もね。</p> <p>5. 通園の安全や保護者の送迎など</p> <p>保護者にとって通園が一番気になっている事でしょう。通園バスがあってもバス停は？参観や懇談行事の時親はどうやって行くの？自動車免許のない人は？などのいろいろな細かい配慮が必要です。また、広野は国道から入るのに危険が多く園へ上がる道は狭いです。みなさんが事故のないように工夫と整備をお願いします。</p> <p>また、車で行けない保護者が気をつかってしんどい思いをすることのないようにお願いします。</p> <p>◎終わりに</p> <p>認定こども園に期待することはたくさんあります。これまでの公立幼稚園で大切にしてきた『命を大切に、やさしい心を育む』保育を継承して下さい。</p> <p>そして、働く親たちが安心して通わせる事の出来る園であってほしいです。そのためにはもっと長時間保育も必要です。また保育者も元気で楽しく勤められる人的環境の配置を願います。3才児保育ももちろん大賛成です。</p> <p>つたない思いを述べてきましたが、こどもたちのより良い幸せと成長を願い、三田市の就学前教育が人間の根っことしてよりおおきく、丈夫に育つことを念じております。</p>	
<p>17 三田市立広野幼稚園に通う保護者の声を集めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く3年保育になって欲しい。 ・令和5年度をめどに再編の話が出ていたのに1年のびて残念。 ・令和5年度の話が進んでいたら3歳児で入園出来たが、1年のびてしまい結局4歳児入園になり残念。 ・市民センターに話を聞きに行きました。その時高齢者の方が再編を反対していました。今子育てしているのは私達なのに少ない意見に耳を傾け令和5年度案がなくなり延びてしまいました。広野幼稚園が3年になるのを心待ちにしていた身としては少数派の意見よりも、今、子育てをしているこちらの意見を聞いて欲しかったです。早く3年保育になって欲しいです。 ・子供が減ってきていて初めての集団保育が少人数だと寂しい。早く3年保育になって欲しい。 ・納涼大会ですが役員が夜遅くまで残り大変。幼稚園部は園児の数も減ってきているし再編案があがっているの見直してみてもどうでしょうか。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見のようなご期待があることも念頭に、再編計画の策定手続を進めてまいりました。特に、就学前のお子さんがいらっしゃる保護者の皆さんの関心が高いことは理解していましたが、当初の再編計画案に対して様々なご意見を頂戴し、より多くの皆さんに計画の目的や内容を知っていただく必要があったことから令和3年度に再び意見交換会などを実施し、計画を策定しました。</p> <p>今後は、再編計画の着実な実行に努め、子どもたちや保護者の方々はもちろん、地域にとってもよりよい認定こども園となるよう尽力してまいります。</p> <p>なお、PTA についてのご意見を踏まえて、再編計画に PTA に関する項目を追加しました(再編計画 P9)のご確認ください。</p>
<p>18 年少からの 3 年保育、17 時・18 時までの預かり保育が基本である私立幼稚園に、園児が流れている印象です。雇用の問題があるので難しいの</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の認識のもとに再編計画を策定いたしました。再編後も引き続き地域</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>は理解できますが、上記 2 点が叶わなければ園児数増は見込めないように思います。発達段階に応じた形で、子どもたちが主体的に話し合って遊びや学びを広げていける場を設ける等、小学校～中学校へ繋げるための学びに意識を向けた保育をしていただけていると感じているので本当にもったいないと思います。</p>	<p>とのつながりや小学校への円滑な接続等を大切にしながら子どもたちの健やかな育ちを支援してまいります。</p>
<p>19</p> <p>・三田市立幼稚園では、これまでたくさんの地域の方々のご支援をいただきながら、教育活動に取り組んできました。再編後も、子ども達の豊かな学びや育ちのために、教育課程を地域に開き、これまで紡いできたそれぞれの地域の方々とのつながりを大切にすると共に、今までかかわりのなかった方々との出会い、かかわりが子ども達の育ちに返り、互恵的な関係を築き、新たな形で地域を再構築する拠点になるよう、保育に取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>・再編後も、遊びを通した幼児期の主体的な学びが、小学校の学びと連結し、小学校へ入学した子ども達が安心して学校生活を送り、歩んでいくことができるよう、地域の実態に応じた特色ある、幼児期の教育と小学校教育の接続の実践に努めていきたいと思ひます。</p> <p>・再編後は、多くの教職員のまなざしで子ども達の育ちを見守ることができまひす。幼稚園が大切にしてきた、一人ひとりの子どもがしていることに丁寧な思いを傾けること、一人ひとりの違いとよさを認め合うことを大切に努めていきたいと思ひます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見にあるとおり、再編により、より多くの教職員が多様な観点から子どもたちの育ちを見守ることができるようになります。また、引き続き、地域との結びつきや小学校との円滑な接続を大切にしながら、一人一人に寄り添って幼児教育がなされるよう教職員が一丸となって取り組んでまいります。</p>
<p>20</p> <p>■全体について</p> <p>農村地域での幼児教育の継続と充実に向け、市と住民の思いが込められた充実した計画案に修正された。また、総合計画が謳う「まちづくりの進め方[1, 2]」が十分に実行された。迅速かつ丁寧な再編計画の実施を期待したい。</p> <p>■「再編の方向性」について</p> <p>ただし、案 4 ページ、再編の方向性のうち、両新園の設置場所の理由について、以下の問題を解決しなければならない。</p> <p>「保護者の就労支援の観点から」との理由は、これまでの調査・答申を踏まえたものでありまさしく適切だが、「就業先に近いと考えられ、交通利便性がよい」との判断には根拠がなく違法性を孕んでいる。</p> <p>本計画案も示すとおり、就業地と幼児教育・保育施設(以下、園)の立地は密接な関係にある。また就業地と居住地の選択は当然相互に規定するから、園の立地は就業地・居住地の選択に強く作用する。すなわち園の立地は実質的に居住、移転及び職業選択の自由に関わる。これら憲法 22 条 1 項の保障する自由に実質的制約を課す園の立地にあたっては、農村地域住</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>農村地域の幼児教育環境の充実と地域活性化を図るため、意見交換会、パブリックコメント手続等を行い、いただいたご意見を踏まえて再編計画を策定しました。今後は、地域や保護者の皆さんと協議等しながら、再編計画の着実な実行に取り組んでまいります。</p> <p>以下に、ご意見に対する市の考え方をお示しします。</p> <p>ご意見では、①再編計画により認定こども園を設置することが、「憲法 22 条 1 項の保障する自由に実質的制約を課す」ものであることを前提に、②認定こども園の設置場所には根拠がない、③再編計画は総合計画と矛盾し、「目的拘束の法理」に違反しており、裁量を濫用しており、違法性をはらんでいる、とされています。</p> <p>しかし、これまで保育所などの就労支援の機能を持つ施設がない(市北東部)又は少ない(市北西部)地域に保育所の機能を有する認定こども園を設置することは、憲法に規定する居住・移転や職業選択の自由を制約するものではないと考えます。</p> <p>というのも、現在の再編対象地域内の市立幼稚園の教育時間は、平日の午</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>民の教育環境を保護しようとする所謂積極目的をもっており設置者の裁量が広く認められるものではあるが、その目的を達するための必要かつ合理的範囲内の手段として立地選定が行われねばならない。しかし、本計画案の園立地に関しては、その合理性が、以下2つの理由から保たれていない。</p> <p>1 つは、農村地域での就学前幼児の保護者の就業(希望)先が、両新園予定地に果たして本当に近いのかどうか不明であり、したがって交通利便性も本当によいのかどうか不明であるという点である。つまり、農村地域の就学前の子どもの保護者は居住地の近くで就労したいと希望しないのかについての事実が不明である点である。</p> <p>この問題は、全国の農村地域での意識・実態調査をメタ分析したり、実際に三田市農村地域で調査すれば解決するので、迅速に調査を実施せねばならない。</p> <p>もう1 つは、本計画案の合理性は三田市総合計画のなかで約束されるものであるにもかかわらず、矛盾を生じている点である。</p> <p>例えば総合計画のもと実施された『第4次三田市農業基本計画』はじめ三田市の農業振興策では、地域での若手農業従事者の確保・育成を重要目標とし、「新規就農者の増加と円滑に就農できる受け入れ体制を整備」し、「【重点プロジェクト】...多様な担い手の確保と育成プロジェクト」として「女性...など多様な人材の経営参画や地域活動への参加を推進」するなど、農村地域住民の域内就労者の確保を喫緊の重要課題として取り組んでいる。当然、未就園児の保護者もまた、その重要な候補者として数えられる。しかし本計画案ではニュータウン地域近傍を「就業先に近いと考えられ、交通利便性がよい」と無根拠に断定しており、農業振興策の方針とは正反対の人の流れを前提としている。</p> <p>また同様に『まち・ひと・しごと創生総合戦略』でも、就業のための転出によって地域の力が失われている現状を問題として、「就業・創業支援、農業の担い手づくりなど産業の活性化に取り組」み、特に農村地域については、「将来にわたって地域農業を担う意欲ある担い手の育成・確保に向け、農業に携わりながら生活する暮らしのスタートをサポートする仕組みを構築します」として、「UIターンを促進する」などしての地域振興をめざしている。農村地域から域外へ、という就業スタイルを無根拠に前提とした本計画案は、ここでも市の政策・方針と矛盾している。</p> <p>つまり、総合計画では農村域内に就業地を興し就労者を囲い込む/呼び込む方針であるのに対して、本計画案では農村域外に就業地を設定し就労に出かける生活を前提としており、両者は矛盾し、本計画案は総合計画のなかでの合目的性を達成していない。</p>	<p>前9時から午後2時までであり、希望者に対しては午後4時半までの預かり保育は行っているものの、週3日の実施にとどまっており、就労支援施設としての機能は小さく、設置される認定こども園の方が就労支援に資する(再編計画P6)ことを考えると就業についての選択の余地は大きくなるからです。また、当該認定こども園を幼稚園として利用する方には、通園バスを運行することとしており、認定こども園へ通園するために居住・移転を強制するものでもありません。</p> <p>育児中の保護者にとって就学前教育・保育施設の存在、位置、提供されているサービスの内容などは、「どこに住むか」、「どんな仕事をするか」を検討する際の要素の一つであるとしても、何をどれだけ重視するか等を含めて、自由意思に基づいて選択を行っている以上、ご指摘の憲法上の権利を制約するものではないと考えます。</p> <p>したがって、再編計画により認定こども園を設置することは、「憲法22条1項の保障する自由に実質的制約を課す」ものではなく(上記①)、そもそも、その合憲性判定基準やそのあてはめについて検討する必要はないと考えますが、念のため、ご指摘の2点(上記②及び③)について市の考え方をお示しします。</p> <p>認定こども園の設置場所(上記②)は、再編計画が「望ましい集団規模」の確保を図るものであることから、最もご利用していただけるであろう場所を選定することが重要です。各幼稚園間の距離、市内の事業所等の分布、就業地の状況(No.4「市の考え方」)等を見ると、再編計画の設置場所は適切であると考えます。</p> <p>総合計画との整合性(上記③)については、再編計画も農村地域に子育て世代が定着することを図るものであり、農業基本計画や総合戦略とは矛盾しないことに加え、再編計画が総合計画の内容を具体化するものである(第4次三田市総合計画(後期計画)基本計画各論【16】)ことから、総合計画と矛盾するものではないと考えます。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>以上のように、憲法の保障する居住、移転及び職業選択の自由に実質的制約を課す新園の立地選定というきわめて重大な裁量を行使するにあたって、本計画案の立地選定の理由には、事実の基がなく、また市政全体のなかで目的拘束の法理に反しており、裁量権の濫用と言わざるをえない状況となっている(つまり、今後も市内組織の横断的な連携をより強化し密にし、と明記するだけでは収まらない状況といえる)。</p> <p>本計画案は、前述のとおり、市と住民の協働が産んだ「子ども・子育て応援のまちさんだ」にふさわしい賜物です。三田市の農村地域が理想的な子育て環境となりうるおおきな可能性をもちながら、同時に事実の基がなく合目的性がないために農村地域を子育て不可能環境にする可能性も孕んでいるため、事実の調査および市政全体での合目的性の確保にむけた合理的な立地選定が実施されねばなりません。係争が続き計画の実施がいたずらに遅延されるようなことがないよう、ひきつづき市・市民がともに問題に真摯に向き合って、適正な本計画として迅速かつ確実に実現されるよう切に望みます。</p>	
<p>21 市立幼稚園の役割を果たす為には、現状の体制では、持続することが難しいと考えます。</p> <p>再編計画にも記されている通り、幼児期における『望ましい集団規模』『少子化や保育ニーズの多様化』に対応していくことが、公教育としての役割を維持していくことに繋がると思います。保護者が安心して教育・保育サービスが受けられる為にも、全ての子どもを受け入れる『公的な認定子ども園』の実現に向けて早急に進めていただきたいと願います。</p> <p>また、新しい施設においては、子ども達の安全・安心が保証される環境設備を徹底し、そこで働く者にとっても働きやすい職場環境となることを期待します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘と同じ認識のもと、再編計画を策定いたしました。</p> <p>今後は、その着実な実行に努めるとともに、安全・安心の確保を最優先とし、保育者としての教職員の資質向上等にも鋭意取り組んでまいります。</p>
<p>22 以前は、自分の住んでいる校区の幼稚園に通う事になっていたのですが、子どもの幼稚園の合間に仕事を探す傾向があったと思いますが、最近は幼稚園も選べるようになり、初めから仕事をしていたり、幼稚園になるのを機に仕事を始めようとするお母さんが多いように思います。仕事をするなら、幼稚園は毎日お預かりのある私立幼稚園を選ばれるので、子どもの人数を増やすには、今のニーズに合わせたお預かりの充実がやはり 1 番大きいのではないかと思います。少人数の良さも沢山あるとは思いますが、大人数だからできる遊びや体験、たくさんのお友達と関われる事は子どもの成長にとってプラスになる事が沢山あると思います。私たち子ども達も、三田幼稚園に通えて良かったと思っています。幼稚園は選べる時代なのかもしれませんが、子ども達にとって、幼稚園で一緒に過ごしたお友達と小学校も一緒に</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再編計画は、農村地域の市立幼稚園を対象とするものですが、市街地にある市立幼稚園の園児数も減少傾向にあります。その要因は、農村地域と同様に少子化と保育ニーズの多様化にあると考えています。</p> <p>ご要望の三田幼稚園での週5日の預かり保育については、(仮称)三田東認定こども園の開設年度を目途に園児数の推移を踏まえて実施することとしています(再編計画 P6)。長期休業中の預かり保育等の実施については、園児数の推移等によっては、集団を継続して確保するための方策の一つとして、今後検討する余地があると考えています。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
通えるという環境は心強いのではないのでしょうか。幼稚園に通えるのは2～3年です。東と西の幼稚園統合や、三田幼稚園の預かり保育が5日になるのも、今の園児の保護者には、正直あまり影響がないように感じてしまいます。だからこそ、早期に預かり保育や、長期休暇中の保育の実現などを実施していただきたいです。	
23 私には市民ではありませんが、職員としての一意見を提出させていただきます。 三田市の子供達のための充実した教育・保育のため、また保護者のニーズにもお応えしていけるように3年保育のこども園の開園に向けて、前向きに取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 幼児や保護者が安心して幼稚園から認定こども園への移行ができるよう幼稚園の職員と連携を密にし、準備を整えてまいります。
24 (1) 意見交換会での16/28名の反対者に対する民主主義の原理原則である、賛成あるいは納得に向けての、行政としての努力姿勢が見られないように感じたのですが、何かしら具体的な動きはなされたのか？	ご意見ありがとうございます。 ご意見のうち(1)から(5)まで及び(8)は、令和3年11月12日開催の総合教育会議資料に関するご意見と思われるので、その前提でお答えします。 この賛否は、6月に開催した意見交換会で参加者をお願いしたアンケートの集計です。この賛否だけでなく、そこに付されたご意見、意見交換会やご提案をいただいて実施した出張意見交換会でのご意見などを参考に再編計画(案)を修正しています。ご意見を頂戴したことで、より良い再編計画を策定できたと考えています。
(2) 出張意見交換会を高平幼稚園区内で3回開催され、17名の出席者があったとのことですが、出席者は腑に落ちて帰られたのか？	出張意見交換会は、参加者が5人～10人と少人数であり、活発な意見交換となったと考えています。意見交換を通じて、より深く皆さんのご意見を伺うことができましたし、丁寧に市の考え方をご説明できたと考えています。
(3) 本庄地区での市回答で「農業をする方々の育児・子育てという視点で…十分にくみ取らせていただきたい」とのことですが、三田市における農業活性化と地域活性化、ひいては三田市の活性化・魅力ある農と街との交流等、縦割り行政ではなく、庁内外を横断的に連携しないと十分にくみ取することは出来ないと考えますが、どうされるのか？	ご意見にあるように、地域の活性化については庁内外の横断的な連携が必要です。再編計画においても「市もしっかりとした体制づくりを行い、農村地域の子ども達の健やかな育ちと、子育て世帯への支援の充実を図り、もって農業や産業の振興、移住・定住の促進等といった地域の活性化につながるよう、皆さんと共に取り組んでいく所存であることを」明記しています(P11)。
(4) 高平9/11の市回答で、就業先に近いアクセスの良い場所…とあるが、それはどのような調査で集約されたのか？高平の場合は、宝塚や伊丹川西方面に出られる方々も多く知っていますから、高平幼稚園を認定こども園にしてもらおうのが理想という声を聞きますが？	ご意見のような方がいらっしゃることは認識していますが、再編計画の策定に当たっては、どの幼稚園を活用すれば、「望ましい集団規模」を確保できる可能性が最も高くなるのか、という視点で検討をしています。 No.4のとおり、高平地域以外の地域から高平幼稚園を経由して従業地へ向かう方は少なく、同園を認定こども園とする場合の園児は、高平地域の子どもが中心になります。しかし、現在の高平地域の子ども達の数の推移や子育てをする世代の少なさ、高齢化等を勘案すると、再編計画に定める「望ましい集団規模」を継続して確保することは難しいと考えます。 こうしたことも踏まえて、志手原幼稚園を活用して認定こども園を設置するこ

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>(5) 高平 9/11 の市回答で、公教育は継続性が重要で、同じ環境を提供してゆくことが望ましい。とあるが高平幼稚園というハード面環境や、ソフト面環境あるいは地域の中の見守り育てられた環境を維持継続してゆくの理想ではないのか？</p>	<p>ととしています。</p> <p>ご指摘の「市回答」は、出張意見交換会における、「園児を増やすためニュータウンへ通園バスを運行してはどうか」というご提案に対するものです。</p> <p>再編計画の目的は、幼稚園を集約・再編することで、集団規模を継続的に確保し、子どもの学びの環境を整えることにあり、ニュータウンへの通園バス運行によっても、希望者の多寡によって園児数が変動し、安定して集団規模を確保することが困難であるとの趣旨でお答えしたものです。</p> <p>幼稚園では、子どもたちの健やかな育ちや学びの環境としての「集団＝ともだち」が必要です。「ともだち」は、子どもにとって日常的で対等な存在であり、社会性や協同性を育むための環境として、幼稚園教育を特徴づけるものです。</p> <p>地域との連携や教職員が持つ知見やノウハウを最大限活用したとしても、補うことが難しくなるほど、園児数が減少していることから再編計画を策定するに至ったことをご理解いただければ幸いです。</p> <p>認定こども園においても地域とのつながりは継続していきますので、今後とも園児たちの育ちを見守り、関わっていただきますようお願いいたします。</p>
<p>(6) 1園あたりの園児数が減少傾向にあることは、公教育としては望ましいものではない・・・とあるが、減少を食い止める施策は何かしら嫉視(※「実施」と思われます。)されているのか？あるいは、公教育がダメなら私教育等の誘致等の努力はなされたのか？あるいは傍観者だったのか？</p>	<p>園児数の減少に対しては、園区外通園を可能にすることや異年齢混合学級の実施、園庭の芝生化・開放や親子が集う子育て支援など集団を通じた学びの環境の確保や幼稚園の魅力向上に努めてきました。しかしながら、園児数の増加にはいたりませんでした。</p> <p>学校教育法や幼稚園教育要領は、集団生活が子どもの学びや育ちにとって欠かせないことから「集団」を前提としており、民間が運営する幼稚園でも「集団」を前提とします。したがって、経営の観点は考慮しないとしても、私立の幼稚園でも現状のまま幼稚園として運営することは困難な状況であると考えます。</p>
<p>(7) 基本方針では「1学級の人数は同年齢で15～30人」・・・との記述があるが、文部科学省研究所よりの報告書では、「学習効果を高めるには、少人数クラス編成が理想的」とある。「少人数授業だとふざける児もいなくなり、集中して学ぶことが出来る。子どもは日々の積み重ねで成長してゆくものです」</p> <p>*疑問→学習→喜び→夢中→勉強のサイクルで自己肯定感を養う。</p> <p>*OECD各国では平均14名/1クラスであり、先進国では6名/担任1人</p> <p>*シカゴ大学のヘックマン教授いわく、「社会投資として、幼児教育に1\$かけると6.2\$の経済利益が生み出され、小・中・高・大の教育効果よりも大きい。</p> <p>*最近注目され始めた「非認知能力(主体性・自制心・意欲等)」が育つ質</p>	<p>ご指摘のとおり、平成31年1月に策定した「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」では、「望ましい集団規模」を設定しています。再編計画でも、農村地域において少子化が進行している現状を踏まえつつ、他市の事例も参考に、幼稚園教育における集団規模の確保による園児の健やかな育ちの重要性、人材、財政における持続可能性等を総合的に勘案して、この「望ましい集団規模」を適切なものとしています。(再編計画P3)。</p> <p>ご指摘の報告書(文部科学省国立教育政策研究所「少人数指導・少人数学級の効果に関する調査研究」(平成27年3月))では、「学級を小規模化し、学年学級数を増やすことが学力の底上げにつながることを示唆している」とされています。学力向上に少人数学級が有効だとしても、幼児期は多様な友達と関わり、遊び込むことで多くを学ぶのであり、学級の下限の目安は設定する必</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>の高い保育が鍵です。</p> <p>※質の高い保育は、子どもと対話できる質の高い保育者が、子どもと園生活を共有するためにも少人数でないと実現できない。</p> <p>※多人数教育だと、先生からの指示・命令による管理保育におちいる。</p> <p>上記の※印についての考えをお聞かせ願います。</p>	<p>要があると考えます。報告書は、就学前教育・保育における学級規模について言及していませんが、再編計画で示す「望ましい集団規模」は、報告書の主旨に照らしても矛盾するものではないと考えます。</p> <p>また、お示しのデータのうち、OECD(経済協力開発機構)各国の教員1人あたりの平均生徒数に関するデータは、再編計画が子どもたちの社会性や協同性を育む環境として「集団＝ともだち」が必要であるとの観点から定める「学級」の園児数の目安としての「望ましい集団規模」とは視点が異なるものであり、両者を同列に考えることはできないと考えます。</p> <p>協調性やコミュニケーション能力、探求心や規範意識、公共性などの非認知能力は生きていくために必要な力であり、人格形成の基礎を培う幼児期において育むことが重要です。非認知能力は「教えられる」ものではなく、体験を通して、「育む」ものであり、「ともだち」の存在がより豊かな体験にすると考えます。友達をしている遊びに触発されて新たな活動に挑戦したり、友達と新しい遊びをつくったり、時にはトラブルを経験することで社会性や協調性を身につけます。また少人数のグループごとに役割を分担しながら学級のみんなで目的に向かって取り組むことで協同性を身につけます。このようなことから子どもたちの豊かな学びのためには一定の集団が必要だと考えています。</p> <p>次に、保育者の関わりについて、ですが、保育者は子どもとの信頼関係を基盤に、発達段階に応じて、「丁寧に向き合い対話する援助」から、「後方から見守り、支える援助」へと変化させることで、子どもの力を引き出し、伸ばしていきます。関わりの量ではなく、その質が重要であり、これまでから保育者の援助のあり方について研究を重ねているところです。</p> <p>質の高い保育は、子どもが得られる経験の豊かさとそれを支える保育の実践や人的、物的な環境など、多層的で多様な要素によって成り立つものであり、一定の集団があることはその可能性を広げるものと考えます。</p> <p>本市の市立幼稚園は、いずれも一般的には小規模園に区分されますが、再編対象となった7園のうち、15人以下が6園、そのうちの3園は10人以下と特に規模が小さな園が存在します。</p> <p>一定の園児数がいれば、教職員は、様々なグループを編成することができ、非認知能力を育むための環境づくりのための工夫ができますが、小規模化はその工夫をする余地が少なくなるほど進行しつつあります。</p> <p>ご意見に示されていたヘックマン教授の「幼児教育の経済学」(東洋経済新報社)では、就学前教育は成長した後の経済状態や生活の質向上について有意であることを、不利な状況に置かれている子どもたちの長期間にわたる追跡調査等によって明らかにするとともに、成長してからの教育等と比較して、幼児教育への投資効果が高いことが論じられています。確かに、この意見は、他</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
		<p>の施策等との選択が必要な場面で考慮すべき見解です。ただ、市立幼稚園は、一人一人の子どもの健やかな育ちと学びを支援するために幼児教育を行っているのであって、「経済的利益」を目的に行っているわけではありません。教育現場でのこうした日々の取り組みが子どもたちの健やかな育ちにつながり、結果として社会的・経済的に利益を生むことは想定されますが、それはあくまでも結果ではないかと考えます。</p> <p>また、幼児教育への「投資」の重要性については、ご指摘のとおりであり、幼児教育環境に改善すべき点があるときは、改善のために必要な投資を行わなければならないと考えます。</p> <p>再編計画は、子どもたちが非認知能力などを身につけるために必要な「集団規模」を確保するために、保育サービスの充実、通園バスの運行などの投資を伴うものであり、幼児教育への投資を疎かにしているものではありません。</p> <p>多人数教育についてもご意見をいただいておりますが、「望ましい集団規模」は、保育者による「一人一人に応じた関わりや配慮」と遊びや生活を通じた「子ども相互の育ち合い」のバランスを考慮して設定しています。保育者の指示、命令による管理保育は、保育者主体の保育であり、市立幼稚園はこれまでどおり子ども主体の保育を継続していきます。</p>
(8)	<p>キーワードマップの最下段に「地域の活性化」とあるが、廃園となった地域に活性化というワードはそぐわないのではないか。</p>	<p>再編計画は、幼児教育の充実のために「望ましい集団規模」を確保し続けられるよう農村地域にある市立幼稚園を集約し、充実した保育を行う認定こども園を東部と西部に各1園設置することとしています。</p> <p>これにより、子育て世代に対する農村地域の魅力を高めることができ、人口減少の抑制と地域の活性化に資することができると考えており、再編と活性化は矛盾するものではないと考えます。</p>
(9)	<p>設置場所は、保護者の就労支援の観点から就業先に近い……とあるが、P5と同じく0歳児から就園前の保護者すべての勤務先を調査されたのか？</p>	<p>再編計画は、どの幼稚園を活用すれば、「望ましい集団規模」を持続的に確保できる可能性が最も高くなるのか、という視点で考えており、本市の就業者の就業地の状況等(No.4「市の考え方」)を踏まえて、策定しています。</p>
(10)	<p>農村地域の活性化は不可欠です……とあるが、三田市の良さは手つかずの自然と共に、人の手が入って守り育ててきた農村環境の景観と生産力がありますが、地域から幼稚園が無くなるのは今後地域を守り育てる若者が住みづらくなり、活性化とは真逆の方向に進んでゆく懸念がある。</p>	<p>(8)の市の考え方をご参照ください。</p>
(11)	<p>幼稚園跡地を活用……とあるが、例えば幼児と高齢者との複合施設を誘致して、利用者相互が生き活きとした交流ができ、相応が生き甲斐を実感できる理想郷は考えられないか？ *赤ちゃんと高齢者は、私の来た道私の行く道のとおりです。</p>	<p>いただいたご意見も参考に、閉園後の幼稚園施設の活用については、地域住民の皆さんと協議を行い、持続可能性等も勘案して、地域にとってより良い活用方法を検討してまいります。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>25 834人であった市立幼の園児が今年度は252人と70%も減少・・・と小規模化の進行は深刻であると思います。</p> <p>先を見通し、これからの三田を創り、育てていくためには、思いきって今の子育て世代のニーズに合うように変化していかねばならないのでしょうか。園児もあまりにも少ないと経験できることが限られてきます。子ども達の育ちに必要な経験を保障するのも公的な保育施設の役割です。(職員も少ない人員で園を存続させるためにたいへんなのではないのでしょうか。)</p> <p>農村部に公的な長時間可能な保育施設ができることは、地域の活性化につながり、結果、三田市が「子育てするなら絶対三田！」と再び人口が増え盛り上がる日が来るような気がします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、子どもたちの豊かな育ちと学びを保障するためには幼稚園に集団が必要であると考えています。また、多様な保育ニーズに対応できる認定こども園とすることで持続可能な農村部の教育・保育施設となり、これから子育てをされる多くの方々にご利用いただける施設として認定こども園を開設・運営したいと考えます。</p>
<p>26 幼稚園を再編のため、場所などは先に決めていますが、駐車場、バス停等子ども達を人数を増やして預ける為のハード面が整ってなく、その上で計画を続ける、理解してくれ、ばかりで、預ける側として、誠意なりが感じられなく、反対意見が減らないのは市として感じていらっしゃるのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>認定こども園として活用する志手原幼稚園及び広野幼稚園は、現時点でバス通園、3歳児保育、週5日の預かり保育などに必要な施設要件を備えていません。そこで、再編計画では、開設までに認定こども園化に当たって必要な整備をすることについて定めています(再編計画P7)。</p> <p>あわせて、こうした施設整備だけではなく、園児の安全確保などの運用面での取り組みも必要となりますので、開設までに地域や保護者の皆さんと適宜協議等を行い、保護者の皆さんに安心していただける環境を整えてまいります。</p>
<p>27 三田市高平地区に在住しています。高平地区は移住されてきた親子の方が多くいらっしゃいます。そして、今後も増えていきます。高平幼稚園では公立では稀に見る素晴らしい保育をされています。森の幼稚園のような感性を育て、知性、身体育て、そして自立心、優しさなど心を育てる保育をされています。このような素晴らしい公立幼稚園の保育を全国に発信していく事で三田市の保育の質の高さをアピールする事ができ、また、三田市自然の中で子育てするにふさわしい場所として認知され、移住する方三田で子育てしたい方が増えると思います。目先の事での統合で削減を考えるより、子どもが豊かきな(※「豊かに」と思われます)育てられる三田の教育を大切にしてください。子どもが増える事で三田市はより発展する思います(※)。また、公立保育所が少ないので高平幼稚園を子ども園にしてはいかがでしょうか。市内で子育てしたい方、里山の自然の中で子育てしたい方、それぞれの方が自分たちの憧れのライフスタイルに合わせて生活できる三田市としてのアピールにもなるのではないのでしょうか？是非もう一度、今ある三田市の幼稚園の教育の質の高さを知って下さい。見に来られた大学の教授からも高い評価をいただいています。保育指針の、改定に関わった汐見さんなどのおっしゃる保育がまさしく展開されています。どうぞ、この幼稚園の保育の素晴らしい質の高さをもっともっと理解してください。子どもたちの目</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では高平幼稚園に限らず、いずれの市立幼稚園においても子どもたちの自主性・協同性・社会性などを育む取り組みを行っています。子どもたちは、友達とのふれあいや葛藤の中でこれらを学び、育ちます。これまで、少ない園児数であっても子どもたちの学びと育ちのため様々な工夫や実践を重ねてきました。そのことが評価いただいていることは大変うれしく思います。</p> <p>しかし、近年の園児数の減少により、こうした工夫や実践をもってしても社会性や協同性を育む環境づくりが難しくなりつつあります。子どもたちの成長のための環境として、日常的に身近にいる「ともだち」は、欠かせません。</p> <p>再編計画は、「目先のこと」で再編をしようとしているのではなく、「人生100年時代」を見据え、子どもたちが「生きる力」を身につけるための環境づくりを行うものであり、持続可能で活力のある農村地域づくりのためのものでもあります。</p> <p>この再編計画がめざしているものが「望ましい集団規模」を持続的に確保し、子どもたちに集団を通じた学びの環境を整えることで幼児教育の充実を図ることにあることに鑑みると、高平幼稚園を認定こども園にするのではなく、この再編計画が最善であると考えます(No.1,24(4))についてもご参照ください。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
	の輝きを、優しさをそして、地域の方の温かい見守りの中で育てている子どもの感性を見て下さい。なんとか統廃合を急がず、もう一度より良い道を考え合う機会をください。心よりお願い申し上げます。	
28	三田市立幼稚園再編計画(案)は、(案)ではなく、市側の決定事項に思えてなりません。市側が、高平地区の保護者・住民と、定期的に交流を深めていけば、高平幼稚園・高平小学校が、地域にとって、どれだけ大きな存在で、どれだけ大切な存在であるか、把握出来ていたのではないのでしょうか？交流があれば、こんな形で、話が進むことはなかったのではないのでしょうか。もっと、住民に寄り添った、市政をして頂きたかったです。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>高平幼稚園が地域の皆さんから愛されていることは、お寄せいただいているご厚情やお心遣いから十分に感じています。</p> <p>これまで地域の皆さんとの連携や培ってきた知見や工夫を最大限活かし、子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりをしてきました。多様な個性にあふれる「集団＝ともだち」は、子どもたちが社会性や協同性などの「生きる力」を育む上で大切ですが、園児数の減少(高平幼稚園では平成13年度比で約80%減少)により、こうした環境づくりが難しくなっています。再編計画は、子どもたちにとってより良い教育環境をつくるため策定したものです。</p> <p>策定に当たっては、意見交換会、出張意見交換会、パブリックコメント手続などのご意見をもとに案を修正等することで、皆さんの不安や疑問にできるだけお応えできるよう努めてまいりました。</p> <p>実施に当たっても、地域、保護者の皆さんとともに「再編してよかった」と思っただけのよう幼児教育の充実、地域の活性化等に取り組んでまいります。</p>
29	農村地区の今後の発展を考え、各幼稚園の跡地に代わりになる保育施設を同時並行で進めて下さい。(森のようちえん等) コロナ禍で働き方、生き方も多様性が当たり前になってきているなか、市内中心部に人を集め、自然豊かな農村地区がどんどん廃れていく様な案は反対です。農村地区から保育施設を無くすなら、農村地区の空き家バンクシステムの廃止もしくは、農村地区の保育施設は三田市立幼稚園再編計画(案)によって廃止した旨を明記して下さい。農村地区活性化という文言も廃止して下さい。できない場合は明確な説明をお願いいたします。統合後の認定こども園と統合前の農村地区にある保育施設を三田市民が「選択」できる様な案を希望します。最後に、三田市立幼稚園再編計画(案)の予算の内訳の開示をお願いいたします。内訳の開示できない場合も説明をお願いいたします。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>共働き世帯の増加等につれ保護者は、市立幼稚園ではなく、保育所機能を持つ施設を選択するようになっていきます。このことと少子化とが相まって、市立幼稚園の園児数が減少しています。ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、価値観が変化しており、子どもたちの「生きる力」を育むことの重要性は高まっています。幼児期には多くの「ともだち」に出会い、社会性や協同性を育むことが大切です。再編は、こうした「生きる力」を育む環境づくりのために行うものであり、あわせて多様な働き方や生き方に対応した施設とすることで、農村地域の魅力や活力を高めたいと考えています。</p> <p>この再編は、中心部に人を集めようとするものではなく、農村地域の活性化を図ろうとするものであるということをご理解いただければ幸いです。</p> <p>各幼稚園の跡地活用については、地域の課題や現状等も踏まえて、地域の方々と協議しながら検討していくことになると考えます。</p> <p>また、空き家バンクの取り組みと市立幼稚園の再編は、どちらも農村地域の活性化に有効な施策であり、廃止することは考えておりません。</p> <p>さらに、保育所機能を有する認定こども園を設置することとしており、ご意見のような農村地域から保育施設をなくすものではないことをご理解ください。</p> <p>再編計画の予算については、策定のための経費は、いわゆる事務費のみです。計画実施の際は、施設の増・改築経費、通園バスの運行経費等を想定して</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
		<p>います。実施に当たっての条件等には地域や保護者の皆さんとの協議等で定まるものもありますので、現時点では具体的な費用についてお示しすることはできませんが、条件等が定めれば、議会に提案する予算案として、その額と内容を開示させていただきます。</p>
30	<p>意見交換会の際に「園児を集めるのに何かされてますか？」という質問をさせていただいた際に、「ホームページを作ったりして市なりにやってる」という返事をいただきました。何年もホームページを拝見させていただきますが、いつまでも園舎のみの写真と目標の文章のみで、各幼稚園の実際何をやってるかなど、何も分からないです。園児が集まらないのは、統計上随分前から分かっている、というのは市なら当然だと思います。であれば、もう少し何かやるのが先ではないでしょうか？ 少子化、過疎化、という理由だけで統合。やることもやらないで、合併すれば園に対しての園児が増やす。反対意見が出るのは、園児募集もろくにかけてない様に市民から見えてるからじゃないでしょうか？ 幼稚園に自分の子どもを入れようとして検索してる人が、あのホームページを見て、ニュータウンからわざわざ見学ですら来ようと思うのでしょうか？ 私は地域に住んでいたのでもたまたま素敵な幼稚園で子どもを預けられた事を幸運に思います。ただ、私がニュータウンに住んでいれば近くの幼稚園に預けたでしょう。市立、私立どちらでも構わなかったと思います。市立図書館で、母子小学校の広報のチラシを拝見しました。市立幼稚園に対して、そのようなことすら出来ないのでしょうか？ 市は市立幼稚園に園児を集めるために働きかけてはいけなかな？と思うほど何もしてないように見えます。あるだけのホームページ作成、広報に文字だけの園児募集、児童館などのホームページと同様な内容のチラシ、以外に何か働きかけをされてるのであれば詳しく教えてください。子どもを幼稚園に預ける側として幼稚園の状況などを知りたいと思うのは親として当たり前のことだと思います。園バスも出さずに、中心地以外の各幼稚園に園児を集めようとするのは普通に考えて簡単なことではないと思います。であれば、せめてもの情報は調べることができる環境にしている当たり前だと思います。どこで、各幼稚園の実際の活動などを調べることが出来ますか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市立幼稚園の魅力の向上等のため、園区の見直し、園庭芝生化、混合保育の実施、子育て支援推進事業“げんき”や園庭開放のほか、幼稚園見学会、オープンスクール等を実施し、どなたでも園にお越しいただき、園の活動や子どもたちの姿、教師のかかわり等を直接ご覧いただける機会を設けてきました。取り組みの成果もあり、ニュータウンなどから多い年では69名の幼児が園区外の市立幼稚園に通っていました。</p> <p>ご意見は、もっと園児募集などの広報をすれば園児は減らず、こうした取り組みが再編よりも先ではないか、とのご意見だと思われま。</p> <p>市立幼稚園の広報については、ホームページへの掲載等だけではなく、就学前施設への入所等についてご相談等に来られる市役所の窓口にご案内の資料を配置するとともに、相談内容に応じて個別にご案内させていただいています。ただ、実際には、お住まいや就業先等を踏まえた保育を行う施設についてのご相談がほとんどです。広報が重要であることは認識していますが、現在の市立幼稚園の保育サービスが多くの保護者のニーズに合致していないことが明らかになっていると考えています。</p> <p>農村地域の市立幼稚園の園児数が減少してきたのは、地域の少子化と幼稚園が保育ニーズの多様化に対応できていないことが主な要因であると考えます。「望ましい集団規模」を継続して確保するためには、市立幼稚園の集約と保育サービスの充実を内容とする再編計画を実行することが必要であると考えます。</p>
31	<p>親が就労するにあたり、都市部に幼稚園を移す理由について教えてください。地域の特色上、親と同居の方も多いです。地域にある方が良いと思うのではないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再編計画は認定こども園を「都市部」に設置するものではありません。ご指摘のように、個々のご事情によりどのような施設が望ましいのかについて違いがあることはそのとおりだと思います。ただ、現在の農村地域の市立幼稚園の園児数は、減少し続けており、「集団規模」を確保することができていない幼稚園があります。公教育としての市立幼稚園での教育を行うためには集団規模の</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
		<p>確保が重要であり、子どもたちの育ちや学びの環境を幼稚園でも整えるためには、再編が必要だと考えています。</p> <p>認定こども園の立地は、集団規模を継続して確保するにあたって、多様な保育ニーズへの対応を前提に、保護者の就業先等への利便性を考慮して選定していますので、ご理解いただければ幸いです。</p> <p>なお、認定こども園を幼稚園としてご利用される再編対象地域の方については、通園バスを運行することとしています。</p>
32	<p>三田市は里山との共生を条例とまでしている市です。農村地域への移住も見込んでいることだと思います。子育て世代ではなく、その上の世代の移住を見込んでるのでしょうか？ 移住にあたり、移住先に幼稚園や小学校などもあるかどうか調べるのは、当たり前ではないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>三田市でも子育て世代の移住促進に取り組んでおり、全国的に共働きの世帯の割合が増えていることを考えると、保育所機能を持つ施設を設置することが子育て世代の移住希望者に対する訴求力を高めると考えます。</p> <p>また、農村地域の市立幼稚園の園児数の減少は、社会性や協同性を育むための環境をつくることを難しくしており、再編は子どもたちの学びや育ちの環境を充実させるために必要であると考えます。</p>
33	<p>高平では毎年、さつまいもの苗植え-収穫体験、醤油造り、大根の栽培から収穫・たくあん造り、梅の収穫・梅干し造りや茜染め体験、椎茸-原木から収穫したり、園内の敷地内でブルーベリーやさくらんぼを栽培して育つ過程に触れるなど、例を挙げれば数え切れないほどのイベントが日常的にあり、体験出来ておりました。こういった体験は農業地域の特性を生かして、地域の方々の暖かい関わり合いのおかげで行われて参りましたが、園が高平地区を離れることによりなくなる事が必至です。統合後にこういった貴重な園児の体験・心を育む場が減り、地域としても関わりあえる場が失くなる事が非常に残念なので、統合に反対です。統合後の園児にも同様の体験をさせてあげられますでしょうか？ 通園バスに関しても、高平では波豆川方面、小柿方面の2系統が考えられます。小野など他地域への通園も考えますと、高平地区に回せるバスは1系統になろうかと思いますが、波豆川を経由後、小柿へ向かう等考えた場合、通園に関わる乗車時間はシミュレーションできておりますでしょうか。山間部であるため、長時間の乗車で園児の酔いも想定されます。同伴・同乗に関わる職員の方の負担や、同乗で出ている間人員が少なくなった園の管理も心配になります。何か事件や事故があってからでは手遅れになろうかと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>地域の皆さんが子どもたちの健やかな育ちにご尽力されていることを大変心強く感じています。地域で子どもたちは、多世代の交流を通じて豊かな経験をしています。他方、幼稚園は、教師に支えられながら、家庭や地域とは異なる社会・文化・自然などの豊かさに、子どもたちが刺激しあいながら出会う場です。</p> <p>幼稚園に多くの「ともだち」がいることで、多様な気付きや体験をすることができ、社会性や協同性を育むこともできます。再編計画は、こうした環境を持続的に確保しようとするものです。</p> <p>幼稚園が移転することになりますが、高平地域の皆さんにも引き続き認定こども園に関わっていただけるようお願いすることとしています。</p> <p>通園バスについては、乗降場所やルートについて、安全性や乗車時間を考慮し、複数の乗降場所をあらかじめ設定し、実際に利用する園児の保護者等との協議のうえ決定することとしています(再編計画P9)。</p> <p>また、通園バスの運行に当たっては、運転手以外に1人の教職員以外の同乗を想定しており、バスの運行の間の幼稚園の管理が疎かになることはありませんので、ご安心ください。</p>
34	<p>三田市の20年後、30年後を考えた時、高平幼稚園は必要だと思います。高平の住民はみんな、高平が大好きです。地域が好きだと、一度その地域を離れてもまた戻ってきます。現に、小さい子供を持つ若い世代の男性の多くは高平で育たれた方が多いです。なぜ高平の皆さんは高平が大好きなのか。それは、小さい頃から地域の皆さんから愛情を沢山受けて育たれ</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>高平地域に限らず、子どもたちは、地域の人たちに愛され、地域を愛する気持ちを育てています。</p> <p>ただ、農村地域は少子化が進行しており、保育ニーズの多様化と相まって地域内の市立幼稚園の園児数は減少してきています。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>ているからだと思えます。高平に引越してきて、高平に住む子供から大人の全ての方が優しい事に驚きました。なぜこんなに優しい方が多いのかと、引越してきた当初はとても不思議でしたが、我が子が高平幼稚園、小学校に通うようになり、地域の皆さんの愛情を沢山受けているから、優しく育ち、高平を好きになるのだと思えました。そして、自分が受け取った優しさを次の世代に返す、そんな好循環が高平の地域には根付いています。高平幼稚園は、地域のボランティアの方が飾って下さったお花で華やかな玄関、地域のボランティアの方に教えて頂いて作った梅干しや沢庵が干され園庭、地域の方が作って下さった園児よりも大きな砂の山。少人数だけど、元気な子供達の声と地域の方々の愛情に溢れ、高平幼稚園はいつも賑やかです。私立で自然の中にある、「森の幼稚園」がとても人気ですが、高平幼稚園は「森の幼稚園」そのものです。市立で「森の幼稚園」があるのはとても素敵だと思いますし、そのような幼稚園を残してほしいと思います。ニュータウンにお住まいの方でも、高平幼稚園が認定こども園になり、幼稚園バスで送迎してもらえたら通わせたい、と思われる方は沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。良い教育の為にはある程度の人数が必要である、幼稚園の数が多いと経費がかかる、などの問題点があるのも理解しているつもりです。ただ、地域の愛情受けている農村部の幼稚園を一気になくすのは、いかがなものでしょうか。なくしてしまえば後戻りはできません。せめて一園ずつ、様子をみながら、住民の意見を聴きながら、慎重に進めて頂きたいと思えます。その地に住む住民の声を聴いて下さい。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>新たに設置する認定こども園は、集団の確保による幼児教育の充実に加え、これまでの市立幼稚園では対応できていなかった長時間保育や預かり保育の拡充など充実した保育サービスを提供することとしています。これによって、農村地域でも共働きの子育て世帯がしやすい環境を整えたいと考えています。再編計画は農村地域の更なる活性化を図るための取り組みであることをご理解いただければ幸いです。</p> <p>また、設置される認定子ども園でもこれまでの地域の皆さんとのつながりを継続する取り組みを行うこととしています(再編計画P9)。これまでと変わらず、子どもたちには地域の皆さんの愛情をいっぱいを受けて成長して欲しいと考えています。</p> <p>なお、通園バスは再編地域の1号認定のお子さんの通園のために運行するものであり、ニュータウンからの通園を想定しているものではありませんので、ご理解をお願いいたします。</p>
35	<p>高平幼稚園に通っていて、今は高平小学校に通っています。高平幼稚園が大好きです！絶対になくさないで下さい！</p>
36	<p>高平幼稚園に通っている子供からのメッセージです。「大きくなったら自分の子供を高平幼稚園に通わせたいです。」</p>
37	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>三輪幼稚園など存続する園の週5日の預かり保育の実施は、園児数の推移等を踏まえ、(仮称)三田東認定こども園の開設年度を目途に実施することとしています(再編計画P5)が、ご要望も踏まえて具体の時期は検討いたします。預かり保育の実施時間の延長については、保護者のニーズ等を踏まえながら、検討したいと考えています。</p> <p>認定こども園では、2号認定子どもだけでなく預かり保育を利用する園児にも、おやつを設定する予定ですので、再編計画の記載を修正しました(再編計画P10)。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

	意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
	たいです。料金等の問題があれば希望制、持参制、取り出し等で問題ありません。特に年少クラスでは空腹に耐えられない為に預かり保育をやめておく、ということも珍しい選択肢ではないように思います。・預かり日数と時間の延長・おやつの実施 以上についてご検討よろしく申し上げます。	また、存続する幼稚園の預かり保育を利用する園児の「おやつ」については、保護者ニーズ等を踏まえながら、検討したいと考えております。
38	志手原幼稚園に通う地域の方は松が丘幼稚園に通える距離だと思う。母子幼稚園や高平の北部、小野の北部の方が志手原まで通うのは距離的にも良いとは思えない。時間はお金では買えません。園児の大切な時間をバスの中で消費される時間が長すぎると思う。	ご意見ありがとうございます。 再編に当たって、園児の通園負担を考慮すべきことはおっしゃるとおりです。志手原を除く母子、小野、高平の3園での再編をご提案されているようですが、再編は「望ましい集団規模」を確保することを目的としており、志手原幼稚園区を加えなければそもそも「望ましい集団規模」を確保し続けることは難しいと考えます(再編計画 P15)。 ご意見のとおり園児の通園負担を考慮する必要がありますので、市内で通園バスを運行している就学前施設の実態等も参考に、具体的な運行ルートや乗降場所について、保護者の皆さんと協議させていただきます。
39	高平小学校体育館での意見交換会の際、高平幼稚園の園児数の減少ばかり取り上げられていましたが、市として対策をしているとは思えない。「調整区域で新しい家も建てられず高平に住みたい人はたくさんいるのに住めない」と意見が出た際、市職員の方が「高平には 60 ほど空き家があります」とおっしゃいましたが、3年ほど前から同地区で空き家を探していましたが、どこを探してもそんなにありませんでした。後日その事を確認したところ、空いている家はありますが、売りには出ていないとの事でした。高平の園児の減少で幼稚園を統合の前に空き家対策に力を入れるべきだと思います。	ご意見ありがとうございます。 空き家は、所有者が賃貸や売却の意思がない等の理由により、長年放置されるなどして、倒壊のおそれや景観・防犯上の課題などが生じることがあります。所有者にとっては私有財産であることはもちろんですが、地域にとっては、その活用によっては移住を促進するに当たっての資源とみることもできます。 意見交換会でご説明したのは、売却や賃貸の意思の有無に関わらず「誰も住んでいない住居」の数です。良好な住宅である限り、移住者等に住んでいただくことが望ましいですが、所有者がその空き家を賃貸又は売却を希望することが前提です。市でも、固定資産税のお知らせの際に、空き家バンク等のご紹介をするなど、その有効活用を促していますが、移住希望者に空き家に住んでいただくためには、所有者の方の状況等をよく知る地域の皆さんとの連携も必要になると考えています。 認定こども園の設置により共働きの子育て世帯にとっても農村地域の魅力を高めるとともに、空き家の利活用に地域の皆さんと着実に取り組むことで、若い世代の定着や流入を促し、地域の活性化を図りたいと考えています。
40	三田市立幼稚園 PTA 代表者会に参加した際、「公立幼稚園の児童数は年々減少している。どうしたら増えるだろうか」と話がありましたが、統合し認定こども園になったとしても、長期休みの預かり保育はなく、2号認定で入所できる子供の数も非常に少ないと聞きました。市立(※「私立」と思われます。)の幼稚園と同じことをしようとしても勝てるわけがないと思います。三田市の魅力はたくさん自然だと思います。たくさん自然を活かした幼稚園としてスタートすることが園児確保に繋がるのではないのでしょうか。高平には歩いて行ける所にさつまいも畑があり、ナナマツの森があり、5km先	ご意見ありがとうございます。 再編による認定こども園では、幼稚園として利用する方の預かり保育を長期休業中も実施します。また、保育が必要なお子さんの利用定員を各年齢で5人ずつとしています。1号認定の利用者数が定員に満たないような場合には、5人を超えて受け入れることを予定しています。 再編は、経営の観点ではなく、幼稚園を子どもたちにとって「集団を通じた学び」の場とするために行うものです。小規模にメリットがあるとしても、幼稚園が社会性や協同性を育むための場であることを考えると、一定数以上の「とも

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
<p>には川遊びのできる野外活動センターもあります。地域の方が幼稚園の子供たちにとくさんの事を考えてくださっています。こんなに良い環境の幼稚園はないと思います。希望者がいればニュータウンにもバスを走らせれば良いと思います。市立(※上記と同じ)幼稚園では経営があるのでできない「小規模保育」を市が率先してすべきだと思います。園児ひとりひとりが主役の幼稚園。こんなに素晴らしい教育はないと思います。</p>	<p>だち」の存在は欠かせないと考えています。 子どもたちが、人生の主人公として、仲間を尊重し、助け合いながら自立して社会で生きていくことができる力を幼稚園で身につけられる環境づくりのため、この再編計画を策定しました。 地域の皆さんには、再編後も引き続き、認定こども園の子どもたちに関わっていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>41 「就学前の望ましい教育・保育環境」の望ましいとは具体的に表記しないのはなぜ？ まず、幼児の置かれている環境をよく知ることで、市のビジョンが見えてこない。 農村地域がよくて、転地した人も多くいる中で「街づくり」から見直すべきだと思う。 統合、廃園、廃校などで地域に集まる場所がなくなればたちまち、活性化がなくなり街はすたれてしまう。市の街づくりのビジョンを示してほしい。 10人に満たない園もある。街に活気がでないからそうなったのである。市は、その努力をしたのか。人数が減ることが予想できたのにほったらかしで、待っていたようすがうかがえる。ビジョンがなっていない。 農村がよくて、家族がうつり住んでいる人の意見をよくきいていない。子どもの人数が減るから。働く場所がないから。長時間保育ができる認定こども園にするなど、市民へのおしつけがひどすぎる。この中から選べといわんばかりで、市民に対しての侮辱でもある。市民も働いている限りは保育園の施設に預ける権利がある。 「一定の集団規模を確保し」の一定とは、具体的には書けないはずですが。一定とはきまりがないからです。この記述ははずすべきです。まったく再編はナンセンス、なんもビジョンももたない市の政策に再編はできません。 農村ののどかなところで伸びのびと今の教育をすることを望んでいます。 広い地域での通園バスの台数は少なすぎです。待ち時間は長く乗車時間も長く、子どもだまって乗っていますが、とてもつらいです。 3歳児は片道20分が限界です。それに見合った台数を確保できますか。 農村地域の活性化は市のビジョンをしっかりと見すえて示すべきです。地域の皆さんと一緒に考えてから、幼稚園問題に取り組むべきです。先に結論ありきの考え方はまちがっています。市がしっかりと農村に住む人とじっくり話をしてからとりくむ問題だとわかりました。 5歳児35人は不的確です。小学1年生は35人ですよ。5歳児18人～20人が的確です。3歳児10人～15人が的確。定員を守りクラス数を増やす</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 再編計画では、「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」(平成31年1月策定)に沿って「同年齢で15人～30人」を「望ましい集団規模」としています。幼稚園は、集団生活を通じて、社会性や協同性などを育む場であり、「一定の集団規模」を前提にしています。具体的には、これまでの幼児教育の経験等から、学級内でのグループ活動ができる人数を安定的に確保するため、5名程度のグループを3つ以上編成することを目安に下限を15名とするとともに、園児一人一人に寄り添える規模として、上限を30名としています。 クラス規模について頂いているご意見と、全園児数が10人未満の園が3園ある等の現状とを踏まえると、やはり再編の必要性はあると考えます。 「地域に集まる場所がなくなる」というご心配については、幼稚園はそもそも子どもたちが集団生活などを通じて「生きる力」を身につけるための学びや育ちの場であることを踏まえると、幼稚園がその役割をしっかりと果たせるようにすることが必要と考えます。 通園バスにつきましては、実際に利用される保護者の皆さんと協議しながら、具体的な乗降場所を設定し、園児の乗車時間にも配慮して運行していきたいと考えています。 策定に当たっては、意見交換会(14回)、出張意見交換会(6回)、パブリックコメント手続などを経て案を見直し、策定しており、「強行手段」をとったものではないと考えます。 市の将来ビジョンについてもご意見をいただいています。再編により認定こども園を設置します。このことは、農村地域への子育て世代の定着と地域の活性化に資すると考えていますので、今後、農村地域の活性化等について地域の皆さんとビジョンを共有しながら、しっかりと取り組むことといたします。</p>

【個別】意見の内容と市の考え方

意見の内容(いただいた意見をそのまま掲載し、必要に応じて付記※しています。)	市の考え方
ことです。あたりまえのことです。 市の再編計画は住民の意向も取り入れずに街の将来のビジョンも持たずに強行手段をとったことにより白紙撤回にしてください。	